

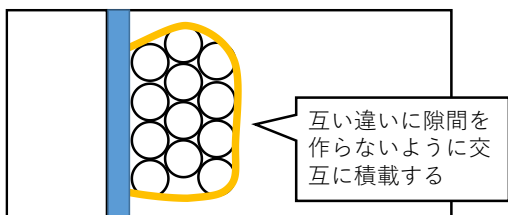
高圧ガス事故事例情報シート

<b>整理番号</b> 2022-59	<b>事故名称</b> 新東名高速道路厚木南インターチェンジにおける輸送中のアセチレン容器横転事故			
<b>発生日</b> 2022年10月5日	<b>事故現象</b> 噴出・漏えい		<b>原因大分類</b> 点検不良	<b>KHK Code</b>
<b>事故発生場所</b> 厚木市	<b>ガスの種類</b> アセチレン		<b>原因中分類</b>	
<b>事故区分</b> 移動	<b>死亡</b> 0	<b>重傷</b> 0	<b>軽傷</b> 0	<b>原因補足</b>
<b>事故状況</b> 新東名高速道路厚木南IC出口付近で、トラックが回収容器を運送していた際に、アセチレン41L容器24本が荷台上で転倒し、アオリ板を開放していた側面から路上に落下する事故が発生した。運転手は後続車両がないことを確認し、容器を道の端に寄せる等の安全確保を行った後、警察等に連絡した。容器からの漏えいはなかった。				
<b>事故原因</b> ・運転手が残ガス容器を回収し車両に積載した時に、ベルトが一重掛けのまま、締めも甘かったために、高速道路出口で減速した際にベルトが緩み、下部より容器が抜け落ち転倒した。 ・さらに、あおり板を開放したまま走行していたため、荷台に転倒した容器が路上に散乱した。				
<b>措置・対策</b> ・ラッシングベルトによる容器固縛は、容器に平行に2本以上掛けることを徹底する。 ・アオリ板締め忘れ確認として、納品先及び回収先を出発する前に車両一周点検を行い、次の事項を確認する。 アオリ板、パワーゲートが閉まっているか エビカン(積載車両のアオリ板を固定する金具)がしっかりかけられているか ベルトが2重掛けされているか ・出発前の車両一周点検を行う旨の啓発ステッカーを、運転席ドアノブ周辺の取り付けることを計画。				

**教訓**

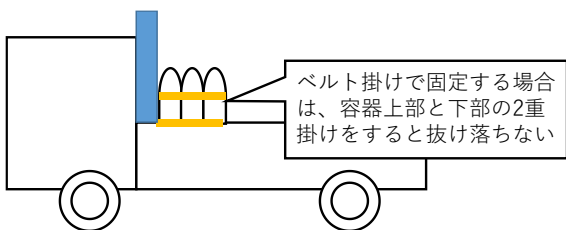
- ・事故発生場所は高速道路であったが、幸いにも事故発生時には、後続車がいなかった。事故発生時間帯によっては、甚大な人的、物的被害をもたらしていた可能性がある。
- ・アオリ板が閉まっている事を確認するのは当然として、ラッシングベルトの上下2段掛け、容器が千鳥配置で緩みなく緊縛されている事を、出発前や駐車した際などに確認する事が重要である。

**容器の有効な緊縛の例(縦積み)**



(↑) 積載車両を上空から見た図

容器は千鳥配置で荷台前方に寄せベルトを2段掛けし緊縛する



(↑) 積載車両を横から見た図

アオリ板を超える容器がある場合は、ベルト掛けをする